

藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和3年 5月25日
横浜市立藤塚小学校
学校だより 6月号
TEL (351) 2314
FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>

新しい学習ツールの活用へ向けて ～G I G A 開き～

副校長 川村 良児

1年前を振り返りますと、3月～5月までの臨時休業期間が明け、6月からようやく分散登校が始まったことが思い起こされます。感染症対策としての環境を整えながら実施可能な教育活動に取り組んできて、ちょうど1年が経とうとしています。現在もまん延防止措置期間中であり、今後の状況も不確定の中ではありますが、子どもたちの学びが止まることなく感染症が早く終息に向かうことを願うばかりです。

さて、2月の学校だよりでもお知らせしましたが、「横浜市におけるG I G Aスクール構想」の策定から、本校でもICT環境の整備やクラウドサービス等を活用した教育環境の充実に向けて準備を進めてまいりました。

各ご家庭におかれましては、5月上旬に実施しました「家庭と学校とのオンライン接続確認」についてご協力いただきましてありがとうございました。5月21日までにいただきました返信をもとに接続状況を集約し、臨時休校に備えるための取組やご家庭との連絡方法等について検討してまいります。

また、5月に入り、3月に搬入された子どもたちに一人一台貸与されるiPadの初期設定がなされました。そして、5月24日に「G I G A開き」と称して使用目的や使用場面、管理方法、個人情報に関すること等、「タブレット活用の約束」を確認するとともに、一人ひとりにiPadを配付し、IDやパスワードを設定して使用するアプリケーションへログインしたり、機能を試したりする活動を行いました。

新しい自分専用の機器を扱うことができるということで子どもたちの期待度は高く、新品のiPadを手にしてとても嬉しそうな表情で操作に取り組んでいました。高学年は従来から学校にあるiPadの操作経験がある子どもたちが多く、比較的スムーズに操作を行うことができていましたが、低学年は初めて手にする子どもたちがほとんどで、一つ一つの操作の理解と作業に時間がかかっている様子でした。学年や経験値等でまだ個人差はありますが、まずは活用の第一歩を学校全体で進めることができました。今年度はiPad活用の一年目ですので、操作に慣れていくことが中心となりますが、学習内容を深めたり、学習効率を向上させたりするための学習ツール(文房具)の一つとして子どもたち自身が学年に応じて効果的に活用できることを目指し試行を重ねてまいります。

